

ベトナム 官民ミッション

2019年2月



日越医療セミナーでのフォトセッション

健診・検診、粒子線治療の導入に関心を持っているベトナムの保健省高官、医師を招聘し、日本の予防医療の取組み（人間ドック）と、日本の特徴のあるがん治療のひとつとして粒子線治療のご紹介を行い、日本医療のアウトバウンド及びインバウンド推進に向けた関係強化を目的に招聘型プログラムを実施した。

◆官民ミッションの概要

- 期間：2019年2月20日(水)～22日(金)
- ベトナム招聘者：9名

保健省

- ・グエン・ヴェット・ティエン 副大臣
- ・ルオン・ゴック・クイ 健診治療管理局長
- ・トン・チャン・ハー 副大臣秘書

バクマイ病院

- ・グエン・コック・アイン 院長
- ・グエン・ゴック・ヒエン 副院長

K病院

- ・チャン・ヴァン・トアン 院長
- ・チャン・ティ・タン・フォン
国際協力科学研究部長

ホーチンがん病院

- ・ファム・スアン・ズン 院長
- ・ファン・タン・ツアン 国際協力部 副部長

◆各プログラム概要

北海道大学病院

陽子線治療センター訪問

まず、2月20日には、北海道大学病院 陽子線治療センターを見学した。陽子線治療センター長 白土教授、国際医療部 副部長 シェーン准教授より、北海道大学病院の取組及び陽子線治療についてご説明頂いた。ベトナムの参加者から適用疾患や費用等、具体的な質問が次々と投げかけられ、粒子線治療への関心の高さが伺えた。



模型を用いて陽子線治療センターの構造をご説明いただいた

2018年度 ベトナム官民ミッション ～予防医療、NCDs の早期発見、がん治療～

日本人間ドック学会訪問

21日午前には、日本人間ドック学会 篠原理事長より、人間ドックの制度及び効果についてデータを用いてご説明頂いた。参加者からは、日本の人間ドックを支える医療保険制度についての質問が挙がり、日本の予防医療・早期発見の取組みと制度についてご理解頂くことができた。



日本人間ドック学会での意見交換

国際医療福祉大学

三田病院、山王メディカルセンター訪問

21日午後には、三田病院及び山王メディカルセンターを訪問し、人間ドックの受診シミュレーションという形で、人間ドック受診の流れを、使用する医療機器の説明を交えてご説明頂いた。

さらに、2018年10月に、ベトナム初の健診専門施設として開設した「ドック健診センター」など、国際医療福祉大学のベトナムにおける取組もご紹介頂いた。



人間ドックの受診の流れをご説明いただいた

日越医療セミナー

22日は、駐日ベトナム大使、日本政府関係者、ベトナムに関心のある日本企業、医療機関を招いて日越医療セミナーを開催した。

冒頭、経済産業省 ヘルスケア産業課国際展開推進室 岸本室長の主催者挨拶に続き、内閣官房健康・医療戦略室 藤本次長、厚生労働省 総務課医療国際展開推進室 高崎室長、ベトナム保健省 ティエン副大臣にご挨拶頂いた。

その後、ベトナム保健省、バクマイ病院、ホーチンがん病院、K病院から、ベトナムにおけるがん対策についての取組等をご紹介頂き、放射線医学総合研究所病院 辻井 博彦 副病院長 兼 国際治療研究センター長から、「重粒子線治療の現状と海外展開」について、国立がん研究センター 中央病院 松田 尚久 検診センター長から「日本のがん対策：消化管がんの早期発見に向けた取組み」についてご講演頂いた。ベトナム側から日本の医療技術に関する質問が多数行われるなど活発な意見交換が行われた。

交流会

セミナー後、計14の企業・医療機関が展示コーナーを設け、製品・サービスの説明、名刺交換等を行うネットワーキングを実施した。



交流会で展示をした企業の説明に耳を傾けるティエン副大臣

- セミナー、交流会参加団体（50音順）

下線は交流会での展示団体

<企業> 17社

株式会社アイセルネットワークス、アライドテレシス株式会社、オリンパス株式会社、キヤノンメディカルシステムズ株式会社、シッパヘルスケアホールディングス株式会社、シスメックス株式会社、住友重機械工業株式会社、株式会社東芝、長瀬産業株式会社、日本エマーゼンシーアシスタンス株式会社、PHC株式会社、株式会社日立製作所、ViewSend ICT株式会社、株式会社ヒューマンライフ・マネジメント、富士フイルム株式会社、みずほ銀行、株式会社メディアヴァ

<医療機関> 8団体

がん研有明病院、慶應義塾大学病院、国際医療福祉大学、聖路加国際病院、津山慈風会 津山中央病院グループ、東京大学医学部附属病院、メディポリス医学研究所、粒子線治療推進研究会

<他 関係機関>：4団体

駐日ベトナム大使館、ホア・ラム グループ、在日ベトナム経営者協会、日本・ベトナム文化交流協会